



2024年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年10月15日

上場会社名 株式会社大庄 上場取引所 東
 コード番号 9979 URL <https://www.daisyo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平 了壽
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長兼管理本部長 (氏名) 野間 信護 (TEL) 03-5764-2229
 定時株主総会開催予定日 2024年11月27日 配当支払開始予定日 2024年11月28日
 有価証券報告書提出予定日 2024年11月28日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (金融機関、機関投資家、アナリスト、マスコミ向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期の連結業績 (2023年9月1日～2024年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期	50,586	11.2	1,000	—	1,157	—	1,333	—
2023年8月期	45,495	27.1	△461	—	△486	—	△769	—

(注) 包括利益 2024年8月期 1,168百万円(— %) 2023年8月期 △579百万円(— %)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年8月期	63.55	—	13.4	3.5	2.0
2023年8月期	△36.65	—	△7.9	△1.5	△1.0

(参考) 持分法投資損益 2024年8月期 — 百万円 2023年8月期 — 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年8月期	33,524	10,402	31.0	495.70
2023年8月期	33,188	9,485	28.6	452.01

(参考) 自己資本 2024年8月期 10,402百万円 2023年8月期 9,485百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年8月期	1,536	370	△1,041	9,001
2023年8月期	784	△372	△544	8,129

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年8月期	—	0.00	—	6.00	6.00	125	—	1.3
2024年8月期	—	6.00	—	8.00	14.00	293	22.0	3.0
2025年8月期(予想)	—	6.00	—	8.00	14.00		27.4	

(注) 2024年8月期期末配当につきましては、直前に公表されている配当予想から修正を行っております。詳細につきましては、本日公表の「2024年8月期 期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2025年8月期の連結業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25,780	3.1	685	46.9	645	△11.5	575	△32.6	27.40
通期	51,520	1.8	1,424	42.3	1,324	14.3	1,074	△19.5	51.18

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2024年8月期	21,198,962株	2023年8月期	21,198,962株
2024年8月期	213,868株	2023年8月期	213,790株
2024年8月期	20,985,111株	2023年8月期	20,985,196株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年8月期の個別業績(2023年9月1日～2024年8月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期	40,755	14.3	696	—	2,352	—	2,649	—
2023年8月期	35,644	37.5	△710	—	△767	—	△962	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期	126.27	—
2023年8月期	△45.85	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年8月期	30,745	9,996	32.5	476.36
2023年8月期	30,247	7,763	25.7	369.97

(参考) 自己資本 2024年8月期 9,996百万円 2023年8月期 7,763百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページの「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、2023年5月に新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症に移行し経済活動の正常化が進む中で、景気は一部に足踏みが残るものの緩やかに回復しつつあります。一方でロシア・ウクライナ等の国際情勢の悪化、不安定な為替変動、物価の上昇等により依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、人流の改善やインバウンド消費の拡大等により需要は回復基調にあるものの、原材料価格・光熱費等の上昇や、物価高による節約志向の高まり、人手不足の影響等により、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況下において、当社グループは、「人類の健康と心の豊かさに奉仕する」という企業理念のもと、「日本の台所」の役割を果たすとともに、日本の食文化と居酒屋文化の発展に貢献するなどの基本方針にこだわり事業運営を行ってまいりました。また、企業価値の向上を目指し早急な業績の改善を図るため、強化業態を中心とした新規出店及び業態変更の推進、「旬メニュー」の提供などのメニュー戦略及びデジタルマーケティングによる集客力強化、卸売・ロジスティクス事業の拡大、不動産事業・フランチャイズ事業等の収益力強化、研修制度の充実や賃上げの実施、DX(デジタル・トランスフォーメーション)による業務効率化推進等の施策に取り組んでおります。

店舗展開におきましては、新規出店を7店舗、店舗改装を21店舗、店舗閉鎖を8店舗(うちVC(ボランティアチェーン)への移行を1店舗)行った結果、当連結会計年度末における当社グループ店舗数は330店舗(直営243店舗、フランチャイズ37店舗、VC50店舗)となりました。

この結果、当期の連結売上高は、前年同期に比べ11.2%増加の50,586百万円となりました。

セグメント別の状況は、以下のとおりであります。

なお、当連結会計年度より、卸売と運送を一体化した総物流サービスの展開を推進していくことを踏まえ、従来の「卸売事業」及び「運送事業」を統合し「卸売・ロジスティクス事業」とする報告セグメントの区分変更をしております。

セグメントの前年同期比較については、前連結会計年度の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

飲食事業につきましては、足許の飲食需要の回復や各種営業施策への取組み等により、売上高は前年同期に比べ4.3%増加の23,499百万円となりました。

卸売・ロジスティクス事業につきましては、卸売含む総物流サービスによる外部売上高が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ19.9%増加の24,213百万円となりました。

不動産事業につきましては、一部自社不動産物件の売却もあり、売上高は前年同期に比べほぼ横ばいの1,630百万円となりました。

フランチャイズ事業につきましては、VC店舗の増加に伴い営業権利用料収入が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ5.0%増加の914百万円となりました。

その他事業につきましては、売上高は前年同期に比べ14.4%増加の327百万円となりました。

利益面につきましては、営業利益は1,000百万円(前年同期は営業損失461百万円)、経常利益は1,157百万円(前年同期は経常損失486百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,333百万円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失769百万円)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産の残高は14,615百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,660百万円増加となりました。これは、現金及び預金が842百万円、売掛金及び契約資産が807百万円増加したこと等によるものであります。

また、当連結会計年度末における固定資産の残高は18,903百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,322百万円減少となりました。これは、投資有価証券が502百万円、建物及び構築物(純額)が438百万円、土地が360百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債の残高は12,922百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,396百万円増加となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が3,254百万円増加したこと等によるものであります。また、当連結会計年度末における固定負債の残高は10,199百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,976百万円減少となりました。これは、長期借入金が3,790百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は10,402百万円となり、前連結会計年度末に比べ916百万円増加となりました。これは、親会社株主に帰属する当期純利益1,333百万円を計上したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ872百万円増加の9,001百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況については、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,536百万円の資金収入(前年同期は784百万円の資金収入)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益1,248百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、370百万円の資金収入(前年同期は372百万円の資金支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出822百万円に対し、投資有価証券の売却による収入768百万円、有形固定資産の売却による収入664百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,041百万円の資金支出(前年同期は544百万円の資金支出)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出4,075百万円に対し、長期借入れによる収入3,540百万円等によるものであります。

(参考)キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年8月期	2021年8月期	2022年8月期	2023年8月期	2024年8月期
自己資本比率	39.5%	31.7%	29.8%	28.6%	31.0%
時価ベースの自己資本比率	65.9%	58.8%	71.0%	71.8%	68.9%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	—	—	450.5%	1,881.5%	910.2%
インタレスト・カバレッジ・レシオ	—	—	42.7倍	9.4倍	15.9倍

- (注) 自己資本比率 : 自己資本/総資産
 時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額/総資産
 キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債/営業キャッシュ・フロー
 インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー/利払い

- ※1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。
 2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。
 3. 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。
 4. 2020年8月期及び2021年8月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、経済活動の正常化に伴い、国内の消費活動は堅調に推移するものと思われま。一方で、国際情勢の悪化、不安定な為替変動に加え、原材料価格の高騰、人件費などのコスト増加など引き続き厳しい経営環境は続くことが予想されます。

このような環境下において、当社グループは、「人類の健康と心の豊かさに奉仕する」という企業理念のもと、「日本の台所」の役割を果たしていくとともに企業価値の向上を目指し、各種施策に取り組んでいきたいと考えております。

具体的に対処すべき課題として、飲食事業においては構築してきた業態ポートフォリオを踏まえた業態変更や店舗改装により売上高・収益力向上を図るとともに、厳選した食材を使用した各メニューの充実、デジタルマーケティング等による集客力強化を図ってまいります。また、卸売・ロジスティクス事業の拡大と収益力強化、その他各セグメント(不動産事業・フランチャイズ事業等)の安定的収益の確保、DXの推進等による業務効率化、健康経営の推進等による労働環境の改善や研修等による人材育成などに取り組むことにより、事業全体の収益力と効率性の向上と、財務の健全化を目指し、企業価値の向上を図りたいと考えております。

以上の結果、2025年8月期の通期連結業績予想につきましては、売上高51,520百万円、営業利益1,424百万円、経常利益1,324百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,074百万円を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、企業価値の向上並びに株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題に位置付けております。また、利益配分につきましては、事業拡大に向けて内部留保の充実に努めるとともに、株主の皆様に対しては、安定した配当を継続的に行うことを基本方針としつつ、業績動向や財務健全性の状況も十分に考慮した上での適正な利益還元を行っていききたいと考えております。

2024年8月期の期末配当予想につきましては未定としておりましたが、黒字転換した通期連結業績を踏まえ、1株当たり8円とさせていただきます、通期では前期に比べ8円増額の年間14円となります。株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の実必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当連結会計年度 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,165	9,007
売掛金及び契約資産	3,082	3,889
商品及び製品	983	991
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	100	106
未収入金	43	15
その他	603	638
貸倒引当金	△23	△34
流動資産合計	12,954	14,615
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,133	15,801
減価償却累計額	△9,779	△9,886
建物及び構築物（純額）	6,354	5,915
機械装置及び運搬具	1,662	1,692
減価償却累計額	△1,119	△1,177
機械装置及び運搬具（純額）	542	514
工具、器具及び備品	1,738	1,716
減価償却累計額	△1,468	△1,437
工具、器具及び備品（純額）	269	279
土地	4,222	3,862
リース資産	1,187	1,144
減価償却累計額	△926	△936
リース資産（純額）	261	208
建設仮勘定	157	161
有形固定資産合計	11,808	10,941
無形固定資産		
借地権	1,759	1,763
ソフトウェア	107	94
その他	126	126
無形固定資産合計	1,994	1,983
投資その他の資産		
投資有価証券	883	381
出資金	1	1
長期貸付金	5	5
差入保証金	3,559	3,417
敷金	1,611	1,533
繰延税金資産	244	542
その他	163	108
貸倒引当金	△47	△12
投資その他の資産合計	6,422	5,977
固定資産合計	20,225	18,903
繰延資産		
社債発行費	7	5
繰延資産合計	7	5
資産合計	33,188	33,524

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当連結会計年度 (2024年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,319	2,542
短期借入金	160	130
1年内返済予定の長期借入金	3,781	7,036
1年内償還予定の社債	110	90
リース債務	113	101
未払金	1,524	1,608
未払法人税等	94	120
未払消費税等	518	443
賞与引当金	232	234
株主優待引当金	234	256
店舗閉鎖損失引当金	0	0
資産除去債務	21	12
その他	414	344
流動負債合計	9,526	12,922
固定負債		
社債	315	225
長期借入金	9,976	6,185
リース債務	297	216
退職給付に係る負債	1,632	1,638
役員退職慰労引当金	191	213
受入保証金	897	846
資産除去債務	785	786
繰延税金負債	78	82
その他	2	5
固定負債合計	14,175	10,199
負債合計	23,702	23,121
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	8,871	7,657
利益剰余金	579	2,870
自己株式	△250	△250
株主資本合計	9,301	10,377
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	189	24
土地再評価差額金	△5	—
その他の包括利益累計額合計	184	24
非支配株主持分	—	—
純資産合計	9,485	10,402
負債純資産合計	33,188	33,524

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
売上高	45,495	50,586
売上原価	27,053	30,935
売上総利益	18,442	19,651
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	51	54
運搬費	140	200
貸倒引当金繰入額	7	11
役員報酬	214	227
給料及び手当	7,773	7,906
賞与	126	144
賞与引当金繰入額	100	136
退職給付費用	203	140
役員退職慰労引当金繰入額	23	22
法定福利費	1,087	1,084
福利厚生費	75	74
減価償却費	886	835
水道光熱費	1,444	1,178
租税公課	107	100
地代家賃	3,062	2,871
株主優待引当金繰入額	195	249
その他	3,402	3,410
販売費及び一般管理費合計	18,903	18,650
営業利益又は営業損失(△)	△461	1,000
営業外収益		
受取利息	7	21
受取配当金	5	2
貸倒引当金戻入額	5	4
受取損害賠償金	26	13
受取保険金	47	50
受取負担金	22	—
投資有価証券売却益	12	235
為替差益	31	6
その他	60	71
営業外収益合計	219	406
営業外費用		
支払利息	83	98
貸倒引当金繰入額	2	9
減価償却費	2	2
支払手数料	32	41
退職給付費用	14	—
その他	108	97
営業外費用合計	245	249
経常利益又は経常損失(△)	△486	1,157

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
特別利益		
固定資産売却益	4	86
受取補償金	142	178
特別利益合計	147	264
特別損失		
固定資産売却損	7	10
固定資産除却損	136	87
減損損失	518	46
店舗関係整理損	104	28
店舗閉鎖損失引当金繰入額	0	0
特別損失合計	767	173
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△1,106	1,248
法人税、住民税及び事業税	120	121
法人税等調整額	△458	△207
法人税等合計	△337	△85
当期純利益又は当期純損失(△)	△769	1,334
非支配株主に帰属する当期純利益	—	0
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△769	1,333

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△769	1,334
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	189	△165
その他の包括利益合計	189	△165
包括利益	△579	1,168
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△579	1,168
非支配株主に係る包括利益	—	0

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100	9,690	529	△250	10,070
当期変動額					
欠損填補		△818	818		—
剰余金の配当					—
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△769		△769
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分				0	0
自己株式処分差損の振替		△0			△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	△818	49	△0	△769
当期末残高	100	8,871	579	△250	9,301

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	0	△5	△5	—	10,065
当期変動額					
欠損填補					—
剰余金の配当					—
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)					△769
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					0
自己株式処分差損の振替					△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	189		189	—	189
当期変動額合計	189	—	189	—	△579
当期末残高	189	△5	184	—	9,485

当連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100	8,871	579	△250	9,301
当期変動額					
欠損填補		△962	962		—
剰余金の配当		△251			△251
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			1,333		1,333
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分					—
自己株式処分差損の振替					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			△4		△4
当期変動額合計	—	△1,214	2,290	△0	1,076
当期末残高	100	7,657	2,870	△250	10,377

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	189	△5	184	—	9,485
当期変動額					
欠損填補					—
剰余金の配当					△251
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)					1,333
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					—
自己株式処分差損の振替					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△165	5	△160	—	△164
当期変動額合計	△165	5	△160	—	916
当期末残高	24	—	24	—	10,402

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△1,106	1,248
減価償却費	1,127	1,060
減損損失	518	46
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3	△24
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△88	6
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	23	22
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
受取利息及び受取配当金	△13	△24
支払利息	83	98
投資有価証券売却損益(△は益)	△12	△235
固定資産除却損	136	87
固定資産売却損益(△は益)	3	△75
売上債権の増減額(△は増加)	△995	△807
棚卸資産の増減額(△は増加)	△418	△13
仕入債務の増減額(△は減少)	775	223
未払消費税等の増減額(△は減少)	29	△73
その他	531	164
小計	597	1,704
利息及び配当金の受取額	13	25
利息の支払額	△83	△96
助成金の受取額	0	—
新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金の受取額	397	—
法人税等の支払額	△141	△112
法人税等の還付額	0	15
営業活動によるキャッシュ・フロー	784	1,536
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,190	△822
有形固定資産の売却による収入	7	664
無形固定資産の取得による支出	△56	△31
投資有価証券の取得による支出	△55	△307
投資有価証券の売却による収入	324	768
敷金及び保証金の差入による支出	△42	△25
敷金及び保証金の回収による収入	958	180
その他	△318	△56
投資活動によるキャッシュ・フロー	△372	370

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△30
長期借入れによる収入	3,600	3,540
長期借入金の返済による支出	△3,900	△4,075
社債の償還による支出	△130	△110
自己株式の売却による収入	0	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△0	△250
リース債務の返済による支出	△113	△115
財務活動によるキャッシュ・フロー	△544	△1,041
現金及び現金同等物に係る換算差額	31	6
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△100	872
現金及び現金同等物の期首残高	8,229	8,129
現金及び現金同等物の期末残高	8,129	9,001

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主として直営店による飲食店のチェーン展開を行っております。したがって、当社グループは、「飲食事業」を中心として、これを直接的・間接的に支援する「卸売・ロジスティクス事業」、「不動産事業」、「フランチャイズ事業」の4つに集約し報告セグメントとしております。

飲食事業は、手作りの和食料理をメインとした「庄や」「大庄水産」の運営等を行っております。

卸売・ロジスティクス事業は、直営店及びフランチャイズ店並びに飲食店等の一般取引先への卸売と倉庫・運送を一体化した総合物流サービスの展開を行っております。

不動産事業は、自社ビルテナントの不動産の賃貸・管理及び賃借店舗物件の転貸等を行っております。

フランチャイズ事業は、F C加盟店及びV C(ボランタリーチェーン)加盟店への運営支援・指導等を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当連結会計年度より、従来の「卸売事業」及び「運送事業」を統合し「卸売・ロジスティクス事業」とする報告セグメントの区分変更をしております。詳細は「1. 経営成績等の概況(1) 当期の経営成績の概況」に記載しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報は、当連結会計年度の事業セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
前連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務 諸表計上額 (注)3
	飲食事業	卸売・ロジ スティクス 事業	不動産 事業	フランチャ イズ事業	計				
売上高									
一時点で移転される 財又はサービス	22,525	20,189	—	—	42,714	286	43,001	—	43,001
一定の期間にわたり 移転される財又はサ ービス	—	—	—	870	870	—	870	—	870
顧客との契約から生 じる収益	22,525	20,189	—	870	43,585	286	43,872	—	43,872
その他の収益 (注)4	—	—	1,623	—	1,623	—	1,623	—	1,623
外部顧客への 売上高	22,525	20,189	1,623	870	45,209	286	45,495	—	45,495
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	6	6,072	191	1	6,271	254	6,526	△6,526	—
計	22,531	26,261	1,815	872	51,480	541	52,021	△6,526	45,495
セグメント利益 又は損失(△)	528	291	362	326	1,509	△27	1,481	△1,943	△461
セグメント資産	9,219	6,475	6,991	519	23,206	114	23,320	9,867	33,188
その他の項目									
減価償却費	651	74	101	77	905	1	906	220	1,127
有形固定資産及び無 形固定資産の 増加額	613	66	692	40	1,412	0	1,412	41	1,454

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主な事業はミヤビパンの製造・販売であります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失の調整額△1,943百万円には、セグメント間取引消去575百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,517百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額9,867百万円には、セグメント間消去△1,607百万円及び全社資産11,474百万円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る資産であります。
- (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額41百万円は、報告セグメントに帰属しない親会社での設備投資額であります。

3. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

当連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務 諸表計上額 (注)3
	飲食事業	卸売・ロジ スティクス 事業	不動産 事業	フランチャ イズ事業	計				
売上高									
一時点で移転される 財又はサービス	23,499	24,213	—	—	47,713	327	48,041	—	48,041
一定の期間にわたり 移転される財又はサ ービス	—	—	—	914	914	—	914	—	914
顧客との契約から生 じる収益	23,499	24,213	—	914	48,628	327	48,955	—	48,955
その他の収益 (注)4	—	—	1,630	—	1,630	—	1,630	—	1,630
外部顧客への 売上高	23,499	24,213	1,630	914	50,259	327	50,586	—	50,586
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	5	7,482	184	1	7,673	312	7,986	△7,986	—
計	23,505	31,695	1,815	915	57,932	640	58,573	△7,986	50,586
セグメント利益	1,448	715	384	347	2,896	0	2,896	△1,895	1,000
セグメント資産	8,723	6,245	6,487	463	21,919	132	22,051	11,472	33,524
その他の項目									
減価償却費	641	59	103	83	887	1	889	171	1,060
有形固定資産及び無 形固定資産の 増加額	711	52	23	46	833	1	834	44	879

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主な事業はミヤビパンの製造・販売であります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△1,895百万円には、セグメント間取引消去518百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,414百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額11,472百万円には、セグメント間消去△606百万円及び全社資産12,079百万円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る資産であります。
- (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額44百万円は、報告セグメントに帰属しない親会社での設備投資額であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

製品及びサービスごとの外部顧客への売上高は、報告セグメントと同一であるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が、連結損益計算書の売上高の90%以上を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

製品及びサービスごとの外部顧客への売上高は、報告セグメントと同一であるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が、連結損益計算書の売上高の90%以上を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	飲食事業	卸売・ロジスティクス事業	不動産事業	フランチャイズ事業			
減損損失	501	—	—	17	—	—	518

当連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	飲食事業	卸売・ロジスティクス事業	不動産事業	フランチャイズ事業			
減損損失	30	—	16	—	—	—	46

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)		当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	
1株当たり純資産額	452円01銭	1株当たり純資産額	495円70銭
1株当たり当期純損失(△)	△36円65銭	1株当たり当期純利益	63円55銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり当期純利益又は当期純損失(△)の算定上の基礎

項目	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
連結損益計算書上の親会社株主に帰属する 当期純利益又は当期純損失(△)(百万円)	△769	1,333
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益又は当期純損失(△)(百万円)	△769	1,333
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(千株)	20,985	20,985

(重要な後発事象)

該当事項はありません。